

中国新聞【令和2年12月17日（木）】に、本校生徒会が花火の打ち上げを企画し、東広島市の企業に協賛依頼している様子が掲載されました。

場合は19日に延期する。
夏祭りなどの中止が相次いだことを受け、同校生徒会が発案。市や同会議所に協力を呼び掛けた。9月から会議を重ね、生徒会の11人と生徒有志約60人が、校内での募金活動や、市内の企業計40社への協賛依頼を続けた。
15日には、生徒たちが同市の半導体製造マイクロンメモリジャパンに出向

新型コロナウイルスの感染拡大でイベントの自粛などが続いた市民を元気づけようと、東広島市の賀茂高の生徒会が花火の打ち上げを企画し、18日夜に東広島青年会議所（JC）の主権で実施する。
市内3カ所で午後6時20分から7時10分にかけて計650発を打ち上げる。観覧者の密集を避けるため、場所は公表しない。雨天の

花火650発 市民を元気に 賀茂高生企画 東広島JCあす開催



マイクロンメモリジャパン社を訪ね、企画を説明する小玉さん（右端）たち

き、趣旨を説明。同社の秋山裕明シニアディレクターは「一人々の気持ちや沈みがちな中、素晴らしいアイデア」と協賛を約束した。生徒会メンバーの2年小玉若葉さん（17）は「高校生の発案による花火を見た人が、『自分にも何かできるかも』と前向きになるきっかけになればうれしい」と話した。（高橋寧々）

※中国新聞社の許諾を得ています。令和2年12月17日（木）